

山梨県衛生環境研究所年報

令和元年 第 63 号

Annual Report of the Yamanashi Institute
for Public Health and Environment

No. 63, 2019

山梨県衛生環境研究所

はじめに

山梨県衛生環境研究所は、公衆衛生・環境に関する県内唯一の公設研究機関として、山梨県の環境と県民の命と健康を守るため、様々な調査研究や試験検査を行う中核機関の役割を果たしています。

令和元年12月に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生が報告され、短期間で世界中に広がりました。このような中で、当研究所においても、国の検査法を導入し、早期に検査体制を整備して検査を実行いたしました。令和2年3月6日、県内で初めての感染者を確認して以降、増え続ける検体の検査に対応するため、検査機器を増設し、所一丸となって対応にあたってきました。新型コロナウイルスに関しては、長い対応が予想されることから、今後の検査依頼を想定し、検査精度の管理や必要な検査に対応できる体制の整備及び職員の教育を引き続き実施していきます。

研究所を取り巻く環境は大きく変化をしております。感染症、災害、環境等の新たな事態や多様化する行政ニーズに対応し、あらゆる課題に的確に応えることができるよう、検査体制の充実強化に努めていくとともに、関係機関と連携を強化しつつ、必要な情報発信に努めていきます。県民の安全を確保する科学的かつ技術的拠点であることを肝に銘じ、職員一同研鑽に励みますので、一層の御理解と御支援をお願いいたします。

ここに、令和元（平成31）年度の調査研究成果と業務概要を「山梨県衛生環境研究所年報第63号」として取りまとめましたので、御高覧の上、御指導・御助言をいただければ幸いです。

令和2年12月

山梨県衛生環境研究所

所長 大澤 かおり

目 次

I	組織と沿革	1
II	業 務 報 告	
	企画情報科・総務スタッフ	2
	生活科学部	8
	微生物部	10
	環境科学部	13
III	資 料	15
IV	論文抄録および学会発表	28
V	研 究 報 告	30
	山梨県内で採取されたスイセンとその調理品に含まれる リコリン及びガラランタミン測定法の検討と含有量の特徴	31
	山梨県におけるインフルエンザウイルスの検出状況（2019～2020）	36
	インフルエンザウイルスにおける薬剤耐性遺伝子の検索	39
	県内における市中感染型MRSAの遺伝子的特徴の検索	41
	早川水系と富士川のSSに関する研究(第1報) —SS分布について—	43
	河口湖周辺の大深度掘削泉の温泉成分の特徴	47